

日本臨床検査専門医会

平成 27 年度第二回全国幹事会議事録

平成 27 年 6 月 27 日

日本臨床検査専門医会 平成 27 年度第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成 27 年 6 月 27 日（土）11 時 00 分～12 時 55 分

開催場所：東大寺文化センター会議室 A

出席者：佐守 友博会長，小柴 賢洋副会長，宮地 勇人，菊池 春人，木村 聡，
佐藤 尚武，米山 彰子，三宅 一徳 各常任幹事，土屋 達行 監事，
五十嵐雅彦，河野 誠司，清水 力，×谷 直人，下 正宗，藤原 久美，
宮崎 彩子，各全国幹事

天野 景裕 平成 27 年度会長・監事選挙選挙管理委員長

欠席者：東條 尚子副会長，高木 康 監事，池田 均，佐藤 麻子 各常任幹事
紀野 修一，萱場 広之，上原 由紀，大谷 慎一，村上 純子，渡邊 卓，
村田 哲也，和田 隆志，末広 寛，杉浦 哲朗，松永 彰，柳原 克紀
各全国幹事

事務局：市川 綾子，松葉 美知代（敬称略）

定刻，佐守友博会長挨拶の後，議長として佐守友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。議事に先立ち，第 25 回春季大会 松尾収二大会長より挨拶があった。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 五十嵐 雅彦，×谷 直人 各全国幹事

第二号議案 平成 27 年度会長・監事選挙について

議長は，会長および監事が平成 27 年 12 月 31 日をもって任期満了となるため，改選の必要がある旨を述べ，会長・監事選挙規程ならびに投票要領を天野景裕 選挙管理委員長に提案させた。投票は，前回同様の郵送方式とすることが報告され，審議の結果原案通り承認可決された。

なお，今後の選挙日程は以下である。

- 6 月 27 日（土） 全国幹事会・総会承認
- 7 月 1 日（水） 選挙予告（HP 上）
- 7 月 14 日（火） 推薦・立候補手続き開始（公示開始）
- 7 月 30 日（木） 推薦・立候補締め切り（公示終了）
- 8 月 17 日（月） 会長所信表明締め切り

- 9月1日(金) 投票開始
- 9月18日(金) 投票締め切り(消印有効)
- 9月27日(日) 開票
- 11月19日(木) 第三回全国幹事会ならびに総会で報告

第三号議案 平成27年度補正予算について

議長は、三宅一徳庶務・会計幹事に平成27年度補正予算案について詳細を説明させた。補正予算の目的は専門医ネットワーク開発経費への対応であり、ネットワーク開発経費は当初見積1,270,000円から2,052,000円に増加した。本年度当初予算では昨年度開発着手金として635,000円を執行予定であったため、本年度分として635,000円を計上していた。しかし、開発業者選定が遅れたため昨年度分が未執行であり、本年度に全額を執行する必要がある。このため、本年度ネットワーク開発経費を差額分1,417,000円増額し、総計2,052,000円とすることが説明された。(詳細は別途資料として添付)

これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

第四号議案 「メディカルオンライン」企業向け著作権権利許諾について

議長は、株式会社メテオ「メディカルオンライン」企業向け著作権許諾について宮地勇人情報出版委員長に説明させた。専門医会所有の著作物について「メディカルオンライン」の利用者が使用する場合、権利許諾料が支払われる契約であることが説明された。これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

第五号議案 平成27年度検査と健康展(日本臨床衛生検査技師会)

議長は、日本臨床衛生検査技師会主催による「検査と健康展」についてその日程を示し、本年度も健康相談について協力を行うことの可否を議場に諮った。その結果、満場一致をもってこれを承認した。なお、佐守友博会長より各会場への派遣は専門医2名以上を原則としたいとの発言があった。

第六号議案 検体測定室運営企業の賛助会員入会可否について

議長は、今後検体測定室運営企業が賛助会員としての本会への入会を希望した場合への対応についてこれを議場に諮った。現状の検体測定室には問題があり、その運営企業が本会賛助会員となることは本会の運営方針にそぐわないとする意見から、本会の運営主旨への賛同を条件として入会を認めるとするもの、など多様な議論がなされた。現状では賛助会員の入会資格やその審査についての規定が明確でないことから、今後賛助会員規定改定の必要性を含め、対応について継続して検討することとなった。

報告事項

1. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

宮地勇人委員長より以下の報告があった。情報・出版委員会では委員会活動の継続性を踏まえ内規の整備をすすめており、「要覧」の発行についての要項を追加して完成版とする予定である。出版物は本年度 LabCP 1 巻は、昨年臨床検査医学会学術集会での共催シンポジウムと新専門医制度についての特集を、2 巻は春季大会での若手臨床検査専門医による各領域での講演を集めて発行予定である。JACLaP News は順調に発行されている。JACLaP Wire は従来の定期版に加え新専門医制度についての臨時増刊を配信している。日本衛生検査所協会「ラボ」は4月以降専門医が教える検査値の判断法を発行していることが報告された。

佐守友博会長より、他委員会でも運営内規ないし委員会活動の目的を文書化したいとの要望があり、常任幹事会で検討することとなった。

②教育研修委員会

菊池春人委員長より、以下の報告があった。第84回教育セミナー(平成27年5月17日、於慶應義塾大学)は、32名の参加者があった。多くは専門医試験を受験予定であった。また、本日生涯教育研修会を開催予定である。

③資格審査・会則改定委員会

池田均委員長に代わり三宅一徳庶務会計幹事から順調に入会審査を継続しており、今後名誉会員・有功会員の審査を行う予定であることが報告された。

④渉外委員会

小柴賢洋委員長より第32回臨床検査振興セミナーは以下の予定で開催予定である旨の報告があった。

日時：2015年7月17日(金) 14:00~17:00

会場：東京ガーデンパレス

講演1 「ISO 15189の動向について」下田 勝二氏(日本適合性認定協会認定センター 参事補)

講演2 「ISO 15189の認定を取得して」柴田 綾子(慶應義塾大学病院臨床検査部技師長)

講演3 「治験における臨床検査 ～質保証と今後の課題」小池 竜司(東京医科歯科大学 医療イノベーション推進センター長、医学部附属病院臨床試験管理センター長)

佐守友博会長より賛助会員数を増やす方策についても委員会活動に加えることを検討したいとの発言があった。

⑤広報委員会

木村 聡委員長より各種発行物を通じて「りんしょう犬さん」キャラクターグッズ（クリアファイルなど）を利用した広報活動を会員に推進していることが報告された。

⑤保険点数委員会

佐藤尚武委員長より以下の報告があった。平成 28 年度診療報酬改定に向け、内保連に対し本会からは未収載項目 1（免疫電気泳動検査診断加算）、既収載項目の見直し 13 項目の提案書を提出した。日本臨床検査医学会からは未収載項目 1、既収載項目見直し 50 項目の提案があった。6 月 9 日に内保連検査関連委員会ヒアリングが実施され、最終的に「血液採取」点数の見直しを第 1 位項目として申請することを決定した。なお、申請根拠とするコスト調査が古いという指摘があり、本会と日本臨床検査医学会とで血液採取コストの再調査を実施することとなった。

2. 専門分野別ネットワーク構築 WG 報告

河野誠司全国幹事、宮崎彩子全国幹事より以下の報告があった。専門分野別ネットワークシステムは専門分野別 Q&A（新規）、過去の Q&A のアーカイブ、専門分野別に資料性の高い Q&A を新たに登録する機能、専門医個人の各病院でのコンサルテーションを記録するページの 4 つの機能を有している。システムは現在 95%程度の完成度であり、春季大会シンポジウムで紹介する予定である。

佐守友博会長よりシステム運用のスタートに当たり各専門分野別リーダを全国幹事に依頼する予定であることが報告された。

3. 平成 27 年度第 2 回総会講演会

三宅一徳庶務会計幹事より平成 27 年度第 2 回総会講演会は平成 27 年 11 月 19 日に河野誠司全国幹事、宮崎彩子全国幹事を演者として「専門分野別ネットワークについて（仮題）」について講演を行う予定であることが報告された。

4. 第 62 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム

三宅一徳庶務会計幹事より第 62 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウムは以下のプログラムを予定していることが報告された。

日時： 2015 年 11 月 20 日（金）、14：20～16：20（120 分間）（予定）

会場： 長良川国際会議場（岐阜県）

テーマ「ヘルスケアに拡大する臨床検査の現状と課題：臨床検査の専門家としてどう向き合うか」

司会： 宮地 勇人（東海大学）、菊池 春人（慶應義塾大学）

1. 「コミュニティ・在宅利用の検体検査の現状と課題：検体測定室，簡易検査，在宅健診を中心に」 菊池 春人（慶應義塾大学）
2. 「コミュニティ・在宅利用の生体検査の現状と課題：呼吸機能検査を中心に」 諏訪部 章（岩手医科大学）
3. 「コミュニティ・在宅利用の生体検査の現状と課題：循環機能検査を中心に」 演者未定
4. 「POCT 装置における医用工学の技術革新と応用展開」 岡 尚人（ラジオメーター社）
5. 「POCT に関する国際標準化の動向と展開」 宮地 勇人（東海大学）

未定となっている循環機能検査については、 \sphericalangle 谷直人全国幹事が推薦され、担当することに決した。

5. 第 26 回（平成 28 年度）春季大会（高知）について

杉浦 哲朗大会長に代わり三宅 一徳庶務会計幹事より、第 26 回（平成 28 年度）春季大会は下記の予定で開催予定であることが報告された。

大会長：杉浦哲朗（高知大学医学部病態情報診断学）

期日：2016 年（平成 28 年）3 月 25 日（金）、26 日（土）

会場：ホテル日航高知 旭ロイヤル，高知市文化プラザかるぼーと

第 1 日 3 月 25 日（金）関連行事（ホテル日航高知 旭ロイヤル）

幹事会 14:30～

生涯教育講演会 16:30～ 18:30（2 演題を予定）

懇親会 19:00～

第 2 日 3 月 26 日（土）春季大会（高知市文化プラザかるぼーと）

シンポジウムⅠ 「チーム医療を支える臨床検査」9:00 ～ 10:50

特別講演：野村文夫先生「プロテオミクス」11:00 ～ 11:50

ランチョンセミナー12:00 ～ 12:50

シンポジウムⅡ 「いよいよ始まる新専門医制度」13:00 ～ 14:50

6. 第 27 回（平成 29 年度）春季大会について

\sphericalangle 谷 直人大会長より、第 27 回（平成 29 年度）春季大会は下記の予定で開催予定であることが報告された。

大会長： \sphericalangle 谷 直人教授（国際医療福祉大学熱海病院）

会 期：2017年2月24日（金），25日（土）（予定）

会 場：静岡県熱海市

7. 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医・管理医審議会報告

三宅一徳庶務会計幹事より平成27年6月18日に開催された第1回日本臨床検査専門医・管理医審議会について以下の報告があった。

(1) 研修施設・指導者認定委員会

2015年7月1日付 12施設が追加で認定施設となり，2施設が準認定に変更，1施設が教育関連特殊施設となった。前回認定で未申請の施設は5施設。

(2) 受験・更新資格審査委員会

本年度専門医試験受験予定者は新規受験者15名＋2名は資格審査中。再受験は6名。

(3) 2015年実施 第32回臨床検査専門医認定試験実行委員会報告

本年度は8月1日，2日に東京大学で実施予定。本年度は試験範囲の明確化を行った。

(4) 第7回臨床検査管理医講習・認定試験

本年度は10月11日に東京医科歯科大学で実施予定

(5) 新専門医制度関連事項

1) 研修プログラムおよび認定料について

機構の提示する研修プログラム整備基準に準じたモデル研修プログラムを作成中。今後これを公開し，各研修施設がプログラムを作成，機構の認定を受け2016年4月～5月にプログラムを公開し2017年4月からの研修医募集を行う。1施設当たりのプログラム認定料は初年度10万円，更新料（毎年）1万円（5年毎に14万円）。専門医の更新料は1万円。

2) 専門医更新基準案（Ver5）

更新単位は50単位。診療実績5～10単位，専門医共通講習5～10単位（うち3単位は必修），臨床検査領域講習 最小20単位，学術業績および診療以外の活動実績0～10単位。診療実績は25件を5単位として認定。診断報告書，管理記録0.2単位，コンサルテーション記録0.3単位で10単位まで追加できる。2016年11月申請分から適応。2019年度までは学会専門医の更新も行う。

3) 更新用講習会の認定について

更新用講習会は領域専門委員会の審査を経て機構が二次審査して認定する。学会主催のシンポジウム，ワークショップ等は原則として認めない。（例外規定あり）機構認定は2017年より開始。2015年度～の領域別講習は事後審査可能。

更新用講習会の認定単位については HP 上で確認できることが望ましいとの要望があり，

三宅一徳庶務会計幹事が日本臨床検査医学会に対し要望を行うこととなった。

8. その他

佐守友博会長より日本臨床検査医学会における「新専門医制度広報アドホック委員会」活動の報告があった。本委員会は臨床検査専門医の増加に向けた広報活動を行っており、今後常設委員会として学会 HP の管理なども行う予定であることが報告された。また、「霞ヶ関こども見学デー」での臨床検査広報企画、「臨床検査の日」関連イベントでの広報活動、本年度学術集会時に開催予定の「若手の会」で基調講演として女性支援 WG アンケート報告を行う予定であることが報告された。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 27 年 10 月 23 日

五十嵐 雅彦

平成 27 年 11 月 2 日

谷 直人

平成27年度予算および補正予算案

| 27年 | 項目 | 平成26年度 予算(補正を含む) | 平成27年度予算 | 平成27年度 補正予算案 |
|-----|--------------|---------------------|------------|-----------------|
| 収入欄 | 会費 | | | |
| | 会員会費 | 6,670,000 | 6,740,000 | 6,740,000 |
| | 賛助会員会費 | 3,900,000 | 4,000,000 | 4,000,000 |
| | 小計 | 10,570,000 | 10,740,000 | 10,740,000 |
| | その他入金 | | | |
| | 広告収入 | 400,000 | 400,000 | 400,000 |
| | 教育セミナー参加費 | 500,000 | 400,000 | 400,000 |
| | 生涯教育講演会参加費 | 100,000 | 100,000 | 100,000 |
| | 振興セミナー参加費 | 100,000 | 100,000 | 100,000 |
| | 利息 | 15,000 | 15,000 | 15,000 |
| 小計 | 1,115,000 | 1,015,000 | 1,015,000 | |
| | 入金合計 | 11,685,000 | 11,755,000 | 11,755,000 |
| 支出欄 | 庶務 | | | |
| | 事務局雑費 | 150,000 | 150,000 | 150,000 |
| | 通信費(事務局) | 170,000 | 170,000 | 170,000 |
| | 人件費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 1,400,000 |
| | FAX使用料 | 60,000 | 60,000 | 60,000 |
| | 会員登録 | 10,000 | 0 | 0 |
| | 経費 | | | |
| | 事務所維持費 | 1,700,000 | 1,700,000 | 1,700,000 |
| | 設備費 | 150,000 | 150,000 | 150,000 |
| | 小計 | 3,640,000 | 3,630,000 | 3,630,000 |
| | 事業 | | | |
| | 印刷代 | 2,000,000 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| | 要覧印刷代 | 550,000 | 550,000 | 550,000 |
| | 通信費 | 1,000,000 | 800,000 | 800,000 |
| | 春季大会補助金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 |
| | 臨床検査振興セミナー費 | 900,000 | 850,000 | 850,000 |
| | 教育セミナー費 | 850,000 | 750,000 | 750,000 |
| | 会議費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| | 交通費 | 70,000 | 70,000 | 70,000 |
| | 宿泊費 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | 原稿料 | 100,000 | 100,000 | 100,000 |
| | 専門医ネットワーク開発費 | 1,270,000 | 635,000 | 2,052,000 |
| | HP維持費 | 170,000 | 170,000 | 170,000 |
| | JCCLS会費 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| | WASPALM会費 | 45,000 | 55,000 | 55,000 |
| | 臨床検査振興協議会 | 300,000 | 300,000 | 300,000 |
| | 内保連 | 100,000 | 200,000 | 200,000 |
| | 予備費 | 390,000 | 75,000 | 75,000 |
| | 小計 | 9,315,000 | 8,125,000 | 9,542,000 |
| | 出金合計 | 12,955,000 | 11,755,000 | 13,172,000 |
| | 収支 | -1,270,000 | 0 | -1,417,000 |